

# プログラミング「難しい」

## 職能短大でロボット教室

### 小中学生が楽しさ学ぶ

大館

小中学生を対象としたロボット教室が29日、大館市の秋

田職業能力開発短期大学校で始まった。「おおだてロボット人材育成コンソーシアム」(中田直文会長)が主催し、本年度は2回の教室を経て、9月に競技会を開催する。直進や旋回など設定通りにロボットが動く、参加者は目を輝かせた。

初日は初級と中級コースに小学4年生から中学3年生まで延べ39人が参加。初級コースでは、参加者がパソコン上で「音を鳴らす」「直進」「旋回」「待機」の動きのプログラムを組み合わせ、ロボットをコースに走らせた。思い通りに動くか試走を繰り返し、参加者同士でアドバイスを送り合った。丸屋俊輔さん(大館一中2年)は「科学部の部員と参加した。距離や角度など正確なプログラミングが難し

いが、楽しい」と話した。コンソーシアムは、子どもたちにロボットプログラミングを体験する機会を提供し、ものづくり人材を育成しようとして活動。昨年度までは全国大会を目指して教室を開いていたが、本年度は小中学生が幅

広くプログラミングを体験し、楽しさを知ってもらおう内容とした。7月20日も教室を開き、9月7日に職能短大でロボット競技会を予定している。  
.....  
ロボットを走らせる参加者  
(秋田職能短大)

